

SAP Solution Brief

SAP BusinessObjects Governance, Risk, and Compliance (GRC) solutions

SAP® Environment, Health, and Safety Management (SAP EHS Management)

アプリケーションは、統合エネルギー管理機能により、エネルギーに関するプロセスの合理化と可視化を実現します。また、企業全般にわたるエネルギー利用の最適化、コストの抑制、コンプライアンス強化の実現を支援します。

エネルギー管理と環境コンプライアンスを支援 コストを抑制し、リスクを最小化するための エンタープライズソリューション

エネルギーコストの増加は、多くの業種において強く懸念される問題となっています。これとともない、多くの企業が、エネルギーコストを抑制し、全社的なエネルギー消費量を可視化し、エネルギー関連コンプライアンス情報を正確かつタイムリーに報告することでリスクを最小化する方法を模索しています。

エネルギー管理は現在、ビジネスの成功にとってかつてないほど重要になっています。SAP® Environment, Health, and Safety Management (SAP EHS Management) アプリケーションは、SAP BusinessObjects™ governance, risk, and compliance (GRC) solutions の一部として、包括的な統合アプローチによるエネルギー管理を実現することによって、複雑なエネルギー管理業務を競争優位性になるように支援します。また、作業時間、労力、エラーを工場/企業レベルで削減し、法規制や報告書へのユーザーアクセスを簡素化し、部門間および全社規模のコラボレーションによって継続的な改善を推進します。

可視性とレポート機能の強化により 的確なエネルギー管理を実現

エネルギー管理を成功に導く重要な要素は、エネルギー利用を全社規模で可視化することです。しかし多くの企業では、データ収集やレポート業務の手順において時間がかかりすぎる、不正確な情報が生成されるなどの状況が発生しています。また、データ、アプリケーション、プロセスが統合されていないと、可視性や、最新の重要情報に対するアクセス性は、大幅に損なわれてしまいます。データ品質の低下、期限の超過、追跡の欠如などの結果として、コンプライアンス違反のリスクが発生する可能性が高く、罰金や生産性低下によって収益への損失が発生するおそれがあります。

SAP EHS Management は、業務管理システムおよび ERP ソフトウェアに統合されるエネルギー管理機能を提供することによって、こうした問題への対処を支援します。これにより企業は、環境コンプライアンスの可視性、パフォーマンス、正確性を全社的に強化できるようになります。たとえば、SAP Manufacturing Integration and Intelligence (SAP MI) アプリケーションとの連携によって、コンプライアンス/環境問題担当マネジャーに工場レベルのデータ/分析情報をフォーム形式で提供し、リアルタイムな意思決定をサポートします。

タイムリーなイベント管理と パフォーマンス監視

エネルギーの過剰な利用や、エネルギー利用合計があらかじめ設定した制限値に近づいていることがわかれば、問題が発生する前に対処することができます。SAP EHS Management は、イベント主導型プロセスをサポートしているため、需要の制限値やその他の独自設定された制限値（メンテナンスエンジニアが定義したエネルギー効率の下限値など）に近づいた場合に、チームメンバーが対応できるようになります。

SAP EHS Management は、制限値からの変化を迅速に自動検出して、予め設定定義した対応策や予防計画を開始することによって、エネルギー利用の最適化を支援します。また、柔軟な例外管理機能により、制限値からの逸脱、期限の超過、その他の不適合項目など、コンプライアンス違反の発生を迅速に検出します。



SAP EHS Management はさらに、複数プロセスの実行、データ提出、作業スケジューリングをサポートする包括的かつ強力なタスク/ワークフロー管理エンジンにより、日常のエネルギー管理を簡素化します。ユーザーまたはユーザーグループは、各自のタスクリストに基づいて、割り当てられた作業を最後まで遂行できます。新たな作業や追加作業が発生した場合は、電子メールで自動的に通知されます。各ユーザーは、直感的な Web インターフェースを使って法規制やレポートに簡単にアクセスできるため、部門の境界を越えた、全社規模のコラボレーションが実現します。

合理的な機能により 効率性と信頼性の高いプロセスを実現

SAP EHS Management は、エネルギー関連ビジネスプロセスの標準化/可視化について以下を中心に実現し、業務効率の向上を支援します。

- エネルギーの監視/可視化/管理
- 排出量の監視/管理
- エネルギー効率の管理
- エネルギーデータと計画/製品原価計算の統合

ガス、電気、石油、蒸気、その他のエネルギー分野で必要とされるさまざまなプロセスを、単一の管理プラットフォームによって合理化できます。包括的なツールと機能により、データや作業結果の収集/監視/報告プロセスも標準化されます。さらに、柔軟なレポート作成エンジンによって、重要なビジネスデータの一時的なビュー表示や、レポートテンプレートへの設備データの自動入力ができます。データは、機器/設備レベルまで、手動または自動で収集/追跡することができます。

SAP EHS Management は、データとプロセスの統合により、エネルギー関連ビジネスプロセスの信頼性を強化します。また、コンプライアンス担当者の画面上で、以下の機能によってプロセス管理の自動化とプロセスの可視化を実現します。

- **直感的な Web インターフェース**: 法規制やレポートへのアクセスを簡素化し、部門の境界を越えた全社規模のコラボレーションを実現
- **プロセス管理システムおよび SAP Business Suite ビジネスアプリケーションファミリーとの連携**: プロセスの自動化とプロセス結果の精度を向上
- **Web サービスとエンタープライズサービスの提供**: データ交換の効率性を強化

効率的な機能により 企業パフォーマンスを最大化

SAP EHS Management は、以下のツールと機能によって、作業時間の効率化と企業パフォーマンスの最大化を支援します。

データの監視と報告

初めてのユーザーでも簡単に使いこなせる、Web 対応の直感的なユーザーインターフェースを提供します。また、組み込み型のデータ検証/承認ワークフローによって、意思決定に活用できる信頼性の高いデータを提供します。全社規模のリアルタイムデータ監視機能では、制限チェック、逸脱の自動検出、専用の例外管理プロセスの自動起動により、最大限のデータ品質を確保し、リスクを最小化します。



設備管理

柔軟なレポート作成エンジンと詳細なデータ追跡機能により、設備、機器、その他の資産に対する環境コンプライアンス管理を実施できます。また、許認可要件やエネルギー報告書の作成、エネルギー利用にともなう排出量のモデル化、エネルギー等価性の算出/報告といったエネルギー関連業務が管理可能です。

企業資産管理

SAP Service and Asset Management ソリューションとの連携により、保全業務をスケジューリングして、パフォーマンスが標準に満たない資産を特定します。またメンテナンス計画機能を活用すると、エネルギー消費量やエネルギー効率を基準に、スケジューリングされたメンテナンスを自動起動できます。これにより、全社的にエネルギー利用を最適化できます。

製品計画および製造

エネルギー消費量を、工場、ライン、ロット別で詳細に可視化することで、エネルギー利用を生産データによって正規化できます。これにより、エネルギーコストとエネルギー消費量を原価計算や生産計画に組み込めるようになります。

その結果、エネルギー需要の予測精度を高め、エネルギー契約条件の改善、エネルギー証明書の活用、製造コストの削減、正確な原価計算による収益の向上を実現が可能です。

最新テクノロジーにより 全社規模の統合を実現

SAP EHS Management は、化学業界向け Industry Value Network グループの枠組みの中で、SAP と TechniData 社および OSIssoft 社による共同開発プロジェクトによって生まれました。このアプリケーションは、SAP が提供する Industry Value Network プログラムが、各業種の最新テクノロジー / ベストプラクティス導入の取り組みにおいて成果をあげていることの実証例にもなっています。

以下の図に示すように、SAP EHS Management のシステムアーキテクチャーは、全社規模でのプロセス統合 / 合理化 / 可視化のサポートを目的に設計されています。また、提供される

環境コンプライアンス / エネルギー管理機能は、SAP MII、Data Historian、SAP Business Suite アプリケーションによって強化されています。SAP Business Suite の各アプリケーションは、SAP NetWeaver® テクノロジープラットフォームを基盤としているため、SAP と SAP 以外のソフトウェアを実行するあらゆるシステムが最適な形で統合されるとともに、全社的な統合も強化されます。

SAP EHS Management が実現する 効率的なエネルギー管理

SAP EHS Management が支援する、エネルギー利用とエネルギー関連プロセスの管理によって、以下に示すビジネスメリットを実現できるようになります。

- **作業時間 / 労力 / エラーの削減** : 包括的な統合アプローチにより、負荷を工場レベルおよび企業レベルで削減
 - **エネルギー利用の最適化** : 問題発生前の修正対応を実現
 - **エネルギー契約条件の改善、収益性の向上、エネルギー証明書の活用** : エネルギー需要の予測精度を高めることによって実現
 - **イノベーションの推進** : コラボレーションを強化して、エネルギー管理を全社規模で効率化
 - **業務効率および環境コンプライアンスの強化** : エネルギー関連プロセスを標準化 / 可視化することによって実現
- **エネルギーコストの抑制** : エネルギー消費量を全社規模で可視化し、エネルギー利用のリアルタイム監視を実現

さらに詳しい情報は

SAP EHS Management を活用して企業のエネルギー管理を強化する方法については以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.sap.com/japan/solutions/sapbusinessobjects/large/governance-risk-compliance/ehscompliance/>

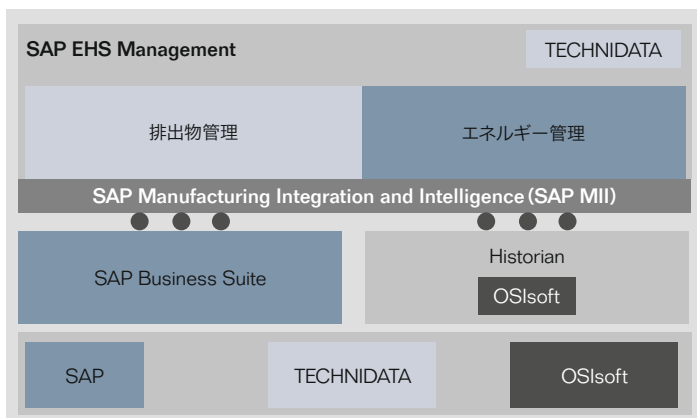


図 : SAP EHS Management のシステムアーキテクチャー

ソリューション概要

SAP ジャパン株式会社

本社 〒100-0004

東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル

TEL 03-3273-3333 (代表)

<http://www.sap.com/japan/>

サマリー

SAP EHS Management は、SAP BusinessObjects governance, risk, and compliance (GRC) solutionsの一部として、プロセスを合理化 / 可視化する統合エネルギー管理機能を提供します。これにより、企業全体のエネルギー利用を最適化し、環境コンプライアンスを強化できます。また、リアルタイムのイベント管理によってエネルギーコストを統制します。さらに、高い精度でエネルギー需要を予測し、契約条件や生産計画を改善することができます。

課題

- エネルギー関連情報の可視性を向上し、コンプライアンスを強化
- エネルギー利用の最適化により、効率性を強化し、製造コストを削減
- エネルギー契約条件、収益性、エネルギー証明書の改善

サポートされるビジネスプロセスとソフトウェア機能

- **データ収集 / 報告業務の統合**：重要なエネルギー関連データを、タイムリーかつ全社規模で監視
- **イベント主導型のプロセス管理 / 例外報告**：要求制限値への接近や過剰なエネルギー利用などの問題を即座に検出し、事前に修正
- **包括的なエネルギー管理**：包括的な統合ソリューションセットによってエネルギー関連業務をサポートすることで、エネルギー管理を最適化
- **原価計算と生産計画**：エネルギーコストと消費データを連携し、エネルギー需要の予測精度を強化

ビジネスメリット

- **エネルギーコストの削減**：エネルギー消費量を全社規模で可視化し、エネルギー利用のリアルタイム監視を実現
- **作業時間 / 労力 / エラーの削減**：包括的な統合アプローチによって実現
- **エネルギー利用の最適化**：問題をリアルタイムで監視し、問題発生前に修正可能
- **エネルギー契約条件の改善、収益性の向上、エネルギー証明書の活用**：エネルギー需要の予測精度を高めることによって実現
- **イノベーションの推進**：コラボレーションを強化して、エネルギー管理を全社規模で効率化
- **業務効率および環境コンプライアンスの強化**：エネルギー関連プロセスの標準化 / 可視化によって実現

詳細

SAP 担当者にお問い合わせいただくか、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.sap.com/japan/solutions/sapbusinessobjects/large/governance-risk-compliance/ehscompliance/>

49009306J (SE/09/06)

© 2009 SAP AG. All rights reserved. SAP, R/3, SAP NetWeaver, Duet, PartnerEdge, ByDesign, SAP Business ByDesign, および本書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP AG の商標または登録商標です。

Business Objects および Business Objects ロゴ、BusinessObjects, Crystal Reports, Crystal Decisions, Web Intelligence, Xcelsius, および本書で引用されているその他の Business Objects 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、米国およびその他の国々における Business Objects S.A. の商標または登録商標です。Business Objects は SAP のグループ企業です。

本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。また、これらの文書は SAP AG およびその関連会社（「SAP グループ」）が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP グループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP グループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。